



## 主な取組

## 水素燃料電池トラックの活用

・2023年8月から水素で発電する燃料電池（FC）小型トラックを導入し、工事現場への資材・機材の運搬等で使用開始。

（災害時等にはトラックの外部給電機能を非常電源として活用）

排気ガスによるCO2を排出しないトラックを工事に利用することでCO2を削減し、2050年カーボンニュートラル社会の実現へチャレンジしています。

※福島県とトヨタ自動車(株)で行っている水素活用の社会実装（「水素のある暮らし」の実装モデル）に向けた実証実験への参画です。

